

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、薬剤部では、本学で保管している診療後の診療情報を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名]

カンジダ血症における薬剤師主導テンプレート介入の有効性評価：時系列分析による治療成績への影響

[研究対象者]

2014年6月から2025年5月の間に東京女子医科大学病院に入院され、血液培養からカンジダ属が検出され抗真菌薬を投与された患者さん

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、退院日、身長、体重、既往歴、併存疾患名、基礎疾患（糖尿病、悪性腫瘍、肝硬変等）、免疫抑制状態（ステロイド使用、免疫抑制薬使用、化学療法）、感染症関連情報（カンジダ菌種、感染源、中心静脈カテーテル留置状況、カテーテル抜去の有無と時期）、治療内容（抗真菌薬の種類、投与量、投与期間、薬剤師介入の有無と内容）、検査値（血算、生化学、CRP、 $\beta$ -D グルカン値、血液培養結果）、合併症（眼内炎、心内膜炎等）、治療転帰（生存/死亡、治療成功/失敗、再発の有無）、有害事象（肝機能障害、腎機能障害、視覚障害等）

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

薬剤師主導の介入（ACTIONs Bundleに基づく標準化された治療管理）が、カンジダ血症の生存率改善、治療成功率向上、再発率低下、有害事象減少に与える影響を解明することを目的としています。本研究により、抗真菌薬適正使用支援（Antifungal Stewardship）の有効性を実証し、医療の質向上と患者予後の改善に貢献することを目指しています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2030年3月までの間（予定）

-----  
[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 薬剤部 部長 塩川 満

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 薬剤部 海老原 文哉

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）